加算器

リプルキャリーアダー

キャリールックアヘッド

パラレルプリフィックス

Sklansky

ブロックからのファンナウトが入力の半分となる。

ファンナウトが大きいと次段のゲートの入力容量が比例して大きくなり、また、ゲートに接続するまでのワイヤも長くなり、配線容量も大きくなる。

Kogge-Stone

理想的であるLog2nの深さを持つ。

もっとも高速な加算器

だがノード間の接続が多く、ワイヤの寄生抵抗に性能が影響されるので現在（）のVLSI実行にはまだ最適ではない

面積、消費電力の面では不利

Ladner-Fischer

Sklanskyの改良版

ファンナウトが加算器のサイズによって大きくなるが

Sklanskyの半分程度

Han-Carlson

Brent-Kung

ファンナウトが少ないが、クリティカルパスが長く高速計算はできないs

Beaumont-smith

ノードの結合数が多い。ファンインが変化する。

ノードの結合数が多いので遅延が大きい。ドミノ論理回路に適している

キャリーセレクト

キャリースキップ

Lingアダー